



町の人口	
(昭和56年5月31日現在)	
前月比較	
男	3,936 (-18)
女	4,204 (+4)
計	8,140 (+15)
世帯数	2,631 (+11)

同和問題啓発月間特集号

同和問題啓発強調月間

福岡県下いっせいに実施
七月一日～三十一日

同和問題の早急な解決は、行政の責務であると同時に国民的課題であります。県及び市町村は、同和对策審議会答申の精神、及び同和对策事業特別措置法の趣旨に基づき、対象地域住民の社会的経済的地位の向上を不当に阻む諸要因を解消することを目的とした、同和对策事業を推進するとともに、県民が同和問題を正しく認識し、理解を深めて差別をなくすための啓発活動を積極的に推進してきました。しかしながら、いまの世の中においてもなお、同和地区の人々には職業、教育、居住、結婚、交際などの面において、基本的な権利が不当に侵され、市民的自由と権利が不完全にしか保障されていません。このことが同和問題であり、私たち町民みんなの課題でもあります。みんなが同和問題を正しく理解し、その解決を自分自身の問題として認識し、差別や偏見をなくすため、今後は啓発活動の一層の強化を図らなければなりません。

そのため、県や市町村では本年七月を同和問題啓発強調月間と定め、町民のみならずすべてを対象として、各種の啓発行事を計画しています。同和問題の解決を「かけ声」だけに終わらせてはなりません。私たち一人ひとりが自らの生活を、地域社会をみつめ、差別を許さない意識を持ち、みんなが「生きてきてよかった」といえる社会を実現したいものです。

方城町昭和56年度同和問題啓発強調月間行事計画表

実施月日	行事概要	場所	参加者	摘
七月一日(水曜)	街頭啓発	。役場前 。八幡町原田商 。伊方橋手前 。宝見橋 。高木橋 など	町三役 正副議長 学校延長事務局 強化延長事務局 各課長	班編成 (午前七時から) 役場前・八幡町・伊 方橋・宝見橋・高木橋 (午後五時から) 農協・ 新日本編物・マクセル 九州日立マクセル
七月三日(金曜)	社会教育関係団体の研修	中央公民館	婦人会幹部	午後一時から
七月九日(木曜)	社会教育関係団体の研修	中央公民館	青年団	午後八時から
七月十日(金曜)	生徒会研修事業	中央公民館	役場職員 生花、着付、茶道(学級生)	午後一時三〇分から 二回
七月十二日(日曜)	同和問題講演会	飯塚文化センター	分館長、各種団体から 二十名参加	午前十一時三〇分から 啓発用映画「若ものた ちの朝一」を上映(午後 一時三〇分から) 講師 平野一郎(朝日 カルチャーセンター所 長)
七月二十日(月曜)	社会教育関係団体の研修	中央公民館	長寿会	講演 午前十時から 映画 午前十時から
七月二十二日(水曜)	高校生の映画の集い	中央公民館	子ども育成会	午後七時三十分から 映画及び解放子ども会 の意義などを説明 午前十時から 映画上映 話し合い
七月二十九日(水曜)	同和問題講演会	方城町民体育館	町民	午後一時三〇分から 講師、部落解放同盟中 央本部 書記長 上杉佐一郎 懸垂幕七張(役場、公 民館、隣保館、パ スの新町、新門の陸 橋) 立看板八張(役場、公 民館、隣保館、伊 方橋、高木橋、宝見 橋、高木橋、宝見橋 三角推百枚、ステッ カ)
その他の啓発				

暴力追放および児童生徒の 非行化防止に関する決議

最近各地において暴力事件や、これに類似した悪質な事件がひん発し、善良な地域住民は不安に脅えています。
また児童生徒の粗暴化が激増し深刻な社会問題となつていますが単に当事者任せのみでは解決出来ず、地域社会が一体となつて、一日も早くそれらの根源を絶滅しなければなりません。
去る五月二十九日、方城町臨始議会において、暴力追放に関する決議、および児童生徒の非行化防止に関する決議がなされました。
民主主義体制を根柢からくつが

えす総ての暴力行為と対決し、絶滅しなければ真に基本的人権の行使と、平和で明るい町づくりはできません。これら暴力行為が今後の地域振興を妨げ、さらに教育の正常な発展を阻害し、次代を担う青少年の健全な育成にも多大な影響を及ぼします。
かかる見地から議会としても、警察をはじめ町内のあらゆる機関や組織に対し、全町民的な運動の推進を呼びかけています。

昭和二十六年から法務省の主催により今日まで、毎年七月一日から三十一日まで「社会を明るくする運動」が実施されています。保護司として二十年の体験を持つ坂本新兵さん(タレント)が、自らの体験を基にして書いた「子供を非行から守るために」は、子供を持つ親にとって、指針となる多くの教訓が含まれています。
子供を非行から守るために
◇本音のつき合いが大切
非行少年の一人ひとりに話を聞いてみると、みんなやさしい心を持った少年たちです。
でも、どこか、さびしげなのです。わたしは、いつも考えさせられてしまいます。このさびしさがきっと非行に走らせるんであろう

「子供が非行の道に走るか、すくすく育つかは、小学校三年生ごろまでの親の育て方次第」というのが、二十年の体験から得たわたしの持論です。
この年代のころまでに、親はふだんだけ子供と本音で話し合ひ、つき合ってきたか——少年非行の問題はこの点にかかっているといつても言い過ぎではないと思ひます。
◇心の中に「ほら穴」
非行少年の多くに共通しているのは、心のどこかに、ほっかりとさびしい「ほら穴」ができています。
どうしてだろうか。行き過ぎた放任主義——手抜き——の子育て

によるものか、あるいは手取り足取りといった過保護が原因なのかいずれにしても「心の空洞」は親と子の心の触れ合いが欠けていたことによるものではないか。
「立派な人間になれよ」「勉強しなさいよ」と口で言うのは簡単です。しかし建前だけの説教だけでは、子供の心に響きません。ですから、例えば親が率先して読書に取り組むなど「ほら、お父さんも勉強しているよ」と態度で示すことが、子供とのコミュニケーションの第一歩です。また、両親が忙しくて子供と接する時間が少ない場合は、せめて夕食を共にしながら子供の話を傾けるようにしたいものです。
◇血の通った親子の交流を
こうした、ふだんの血の通った交流の積み重ねこそ、非行の芽をつみとるいちばんの近道です。もし、不幸にして子供が非行という「病氣」にかかったら、まずあせらないことです。あわてて追いかけても、子供はソッポを向くだけ——ということが、実際には多いようです。
そのためには、まず、偽りのない親の生き方を見せることも、一つの方法かもしれません。そして「自分の人生は自分で生きていくしかない」という気持ちを持たせること、そうすれば子供は自ら立ち直るにちがひありません。

ほたる見句会

六月十六日の夜、採銅所句会の人達がほたる見句会をするというので、秋風子さんと早速出かけた。梅雨どきのむしむしする夜であった。このような晩は特にほたるがよく出て飛ぶと聞いて、心はずませ土橋の上で日の暮れるのをいまやおそしと待った。
ほたる見、ほたる狩、なんと美しい言葉であろう。今は亡き父とほたるを追った幼き日が、胸のいたい程なつかしい。八時過ぎた頃

みな眼が追ひし一番ほたるかな
しかしながらほたるの名勝地でもあったといわれていたこの川にも、ほたるの数は以外に少ないのに、いささかがっかりした思いであった。古老の話によると、昔は数千匹のほたるの乱舞を見るのが出来たという。農業や川工事などによる減少かも知れない。やはりこういつた自然の美しきというものは、子供や孫たちにもせひ残

してやりたいと思う。それが私たちの責任であるように思えてならない。当日の句会には三十五名の集いがあったが、特に方城句会の秋風子さんが、群を抜いた成績でみんなをうならせた。楽しい夏の夜のひとときであった。(S生記)
当日の句会より
ほたる飛ぶ 昼は野良着の 濯ぎ場に 秋風子
厨の戸 あけてほたるを 呼び入る 呼びひさし
大を出せば 消えそう初はた

ほたる火といふはかなしき 過去をよぶ
誰とでも 道連れとなり ほと
にぎわいて いてもほたる火 とはさみし
甘き水 あればほたるの 桜ん坊
ほたる火や ふる里速く 千恵女
住み 住み
くら くら
水辺恋 失名

「子供が非行の道に走るか、すくすく育つかは、小学校三年生ごろまでの親の育て方次第」というのが、二十年の体験から得たわたしの持論です。この年代のころまでに、親はふだんだけ子供と本音で話し合ひ、つき合ってきたか——少年非行の問題はこの点にかかっているといつても言い過ぎではないと思ひます。非行少年の多くに共通しているのは、心のどこかに、ほっかりとさびしい「ほら穴」ができています。どうしてだろうか。行き過ぎた放任主義——手抜き——の子育て

西部工芸展

父娘三人そろって入選



第十六回西部工芸展(日本工芸会西部支部、朝日新聞社共催)に大字伊方八幡町、呉服店経営光井玄吉さんと長女やすみさん、次女ともみさんがそろって「課題」(皿)部門に入選しました。
この西部工芸展出品者はプロの人達が多く、これに入選すればプロ級の腕前ということになります。土の魅力にひかれ作陶に励む父を二人の娘たちも一年前から追いかけて始めました。
今回で三回入選をはたした父ですが、娘さん達は初応募でみごと金の射とめました。

光井さんが焼くものに関心を持ったのは学生時代です。その後仕事で忙しく、焼くものなどに時間をさく暇がありませんでした。六年前にやつと工場と窯場をつくり、吉右衛門窯(永末晴美さん)らの助言を受けて作陶にかかりました。
姉は仏教大学(社会福祉学科)卒業、弓道初段、妹は鳥取大学(獣医学科)卒業、剣道四段の腕前であり、父とともにスポーツマン一家です。(父は剣道錬士五段)現在は家事手伝いですが、一年前から父が集めた陶器の本を二人が競って読破。一日十時間近くくろくを回し、暇があると展示会や、近くの陶器産地を訪ね歩く、先発の父の方がいまでは追いかかれ「抜かれかねない状態です」と苦笑しています。
父は伝統的な茶陶、やすみさんは洋食器と陶器の一致を目指し、ともみさんはその中間と、将来の方向はやや違います。「いつか三人展でも開ければ」というのが夢になっています。

赤ちゃん電話が開設されました
国際児童年を機に、「赤ちゃん電話」を開設し、核家族が進むなかで若い母親の育児等に対する悩みや不安について、保健所から遠隔の地に居住している者や、多忙のため保健所等に向く機会に恵まれない若い母親に対し、電話を通じて、これらの相談に応じ、母親の持つ問題を、解決しようとするものです。
1. 実施主体 福岡県
2. 事業実施 財団法人福岡県看護等研究研修センター
3. 相談開設場所 (1) 財団法人福岡県看護等研究研修センター 電話(〇九二二) 七五一〇一一〇

第五十八回商工会珠算検定試験

合格者は六名

六月七日、八幡町商工会で、第五十八回商工会珠算検定試験が行われました。
日頃の練習の成果を発揮すべく、受験に参加した十七名でしたが、合格への切符の入手は、容易ではなく、合格率三十五パーセントでした。

合格者は六名で次のとおりです。
〇三級 砥綿香
〇六級 平川めぐみ
〇七級 白石初男
〇八級 仲村憲一
小川マリ (敬称略)



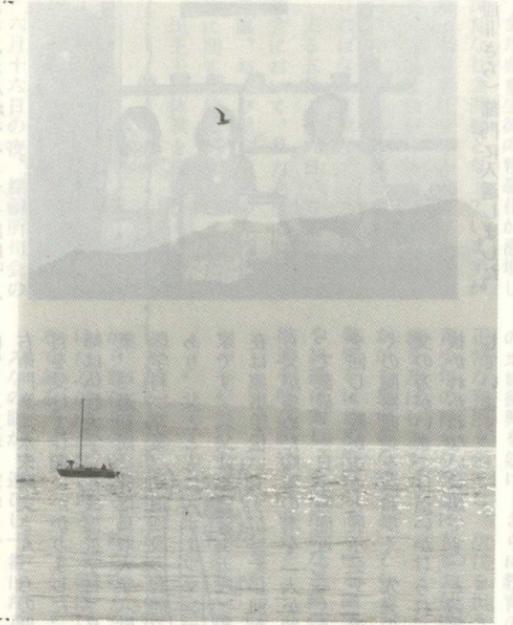
管理職(課長級)の異動がありました

六月一日付けで管理職(課長級)が次のように異動しました。
()内は旧ポスト
総務課長 勝木一郎(建設課長)
企画室長兼務
建設課長 葛原清一郎(企画室長)
同和室長 白石純一郎(財政課管財係参事)
第一保育所々々長 浦田ヨシエ(第三保育所々々長)
第二保育所々々長 却野曉江(第一保育所々々長)
第三保育所々々長 萩尾真由美(第二保育所々々長)

方城町写真クラブ

五月例会

(カラー) 三席 斉藤信夫
四席 松井清司
五席 村田義美
参加者 8名
(カラー) 二席 光井英一「ワン・デー」
カラー 129点 黒白 15点



今月の優秀作品 白黒

「早春の海」 作 光井英一

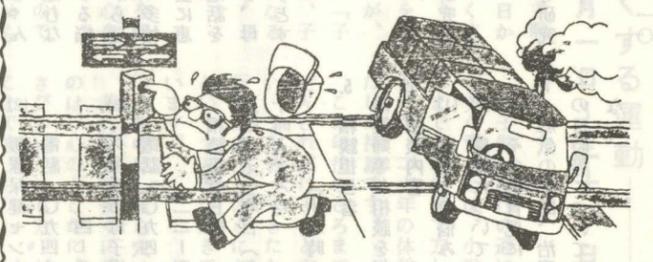
(評) 今月は、光井さんの作品です。少しサロン調の写真に成っていますが、のどかな日曜日の朝といった感じが、画面全体から伝わって来ます。(早谷)

六月份例会

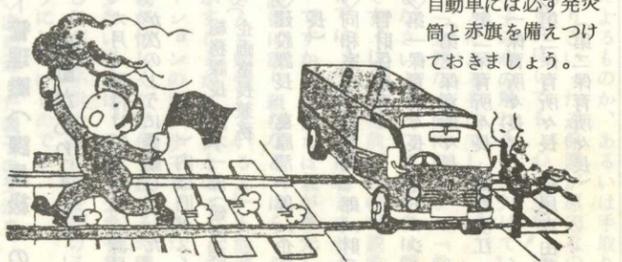
二席 光井英一 「F3」
参加者 8名
カラー 53点 黒白 9点
一席 斉藤信夫 「神幸祭」

もし、踏切で動けなくなったら

◎自動車を出すより、まず列車をとめる手をしましょう。
◇踏切非常ボタンを押しましょう。
単線区間の一部と、複線区間の警報機のある踏切には、踏切非常ボタンが付いていますので、ボタンを強く押してください。押したら近くの駅へ必ず連絡してください。



◇踏切非常ボタンの無い所では
まず自動車に備えつけの発炎筒に火をつけて、見通しの良い方に立て、反対側には赤旗等を持って走り列車を止める手をしてください。



選挙権のある者

◎当該農業委員会の区域内に住する者であること。

◎昭和五十六年一月一日現在選挙人名簿に登録された者

◎十アール以上の農地につき年間60日以上耕作の業務を営む者

尚、くわしいことは方城町選挙管理委員会へおたずねください。

7月17日(金)は方城町農業委員会

委員の投票日です

投票所：青年婦人研修所

時間：午前7時から 午後6時まで

お互いの人権を尊重し 差別のない田んぼづくりを

正しい使い方や 性質を知ろう

LPガス(プロパンガス)の怖さを存じですか?
使用しやすさに慣れすぎて、ちょっとした不注意から思わぬ火災や爆発事故が起きています。こうした事故のほとんどは、LPガスの使用上の不注意や知識不足によるものが多いのです。
事故を防ぐには、LPガスの正しい使い方・性質をよく知っておくことが大切です。

空気より重いLPガス

LPガスは、空気の約1.5倍の重さがあります。
ですから、漏れたときには床面などの低いところにたまり、気づかないことがあります。
そのためLPガスには、玉ネギの腐ったようなにおいがつけられています。漏れたなあと感じたら、腰をかがめて床面のおいを追跡し、ほうきなどで、静かに外にはきだすといいでしよ。
また、LPガスは空気中にわずか2%混ざっただけで、火気があると爆発します。たばこの火はもと

花火の事故防止

夏の風物詩も 原料は火薬です

大人も子供も...家族みんなで楽しめる花火は、夏の夜ならではの風物詩です。
最近はおもちゃ花火もいろいろな種類が回り、取り扱い方も複雑なものが増えてます。そのため、一歩取り扱いを間違えると、ケガや火災など思わぬ事故に

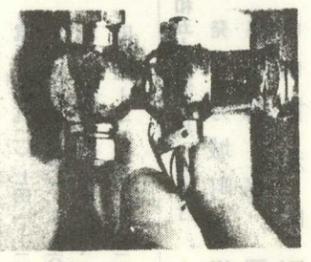
もちろん、電気器具のスイッチを入れるのは、火花を生じて危険です。換気扇など回さずに窓やドアをあけ、低い所にたまっているガスを外に追い出してください。

換気は十分に

不完全燃焼は中毒のもと
LPガスそのものには毒性はななく中毒を起こすことはありません。しかし、ガス器具を使うとき十分な換気を行わないと、不完全燃焼を起し、有害な一酸化炭素が発生します。

ゴム管は二年に一度は 取り替えよう

ゴム管と接続部は「ホースバンド」でしっかり締め付けてあるか使っていない元栓に「ゴムキップ」を取り付けてあるか、ときどき確認しましょう。
ゴム管は、古くなるとひび割れてガス漏れの原因となります。少なくとも二年に一度は新しいものに取り替えるようにしましょう。また、「三つまた金具」の使用は



毎月10日は「LPガス消費者保安デー」ぜひ点検を



子供の浴衣に燃え移り、大やけどするといった事故も少なくありません。
「おもちゃ花火」だからといって軽く見るとたいへんなことになりま。夏の夜をいどる風物詩も、原料は火薬であることを忘れてないでください。
花火遊びは、まず「花火の性質・取り扱い方」をよくのみこんでからにしましょう。注意書きを念入りに読んでください。
そして、子供だけでは決して花火をさせないようにしましょう。

子供同士で、大人に隠れて花火をしたために、やけどをしたり火災を引き起こしたりという事故が後を断ちません。必ず大人が付き添うようにしましょう。
大人の付き添いのある場合でも火災予防の点から、風の強い日に花火をするのはやめましょう。
また、花火遊びの場所としては周囲に木くずや紙くずなど、燃えやすい物がない、人家などから離れた広い空地を選びましょう。
花火の燃えがらをゴミ箱に投げ入れたため、火事になった例があ



